滋賀県流域治水検討委員会
第２回住民会議 資料２

地域防災力の再生に向けて

平成２０年(２００８年)5月2日

滋賀県流域治水政策室

地蔵川（米原市）

水郷めぐり（近江八幡市）

かばた（高島市）

余呉川（木之本町）

滋賀県流域治水検討委員会
第２回住民会議

針江大川（高島市）

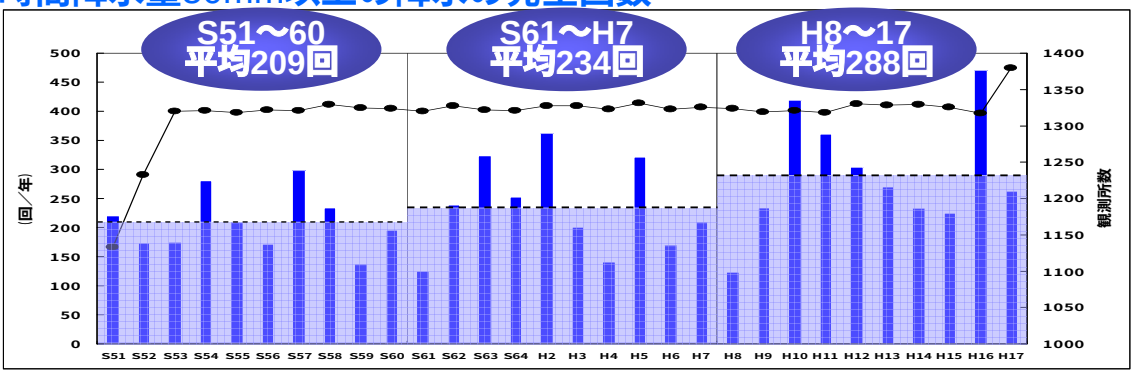
天野川（米原市）

平成20年５月２日（金）
滋賀県　流域治水政策室

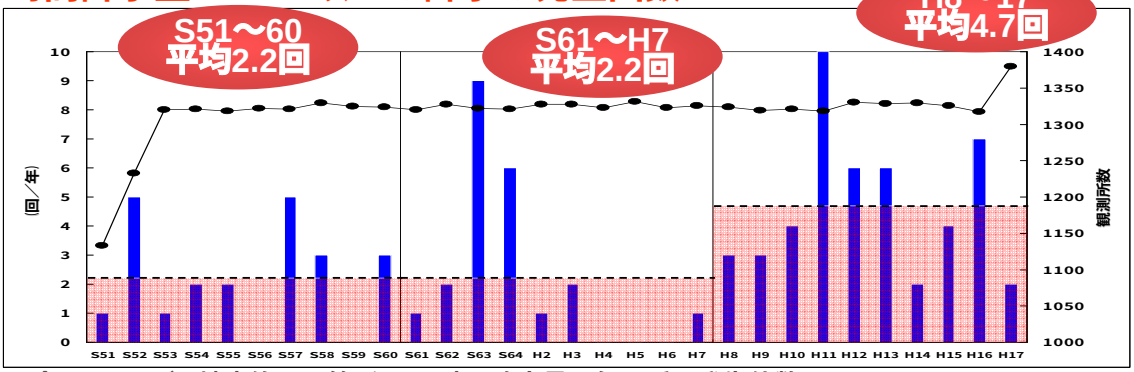
１．治水政策の課題（再掲）

気候変動

1時間降水量50mm以上の降水の発生回数



1時間降水量100mm以上の降水の発生回数

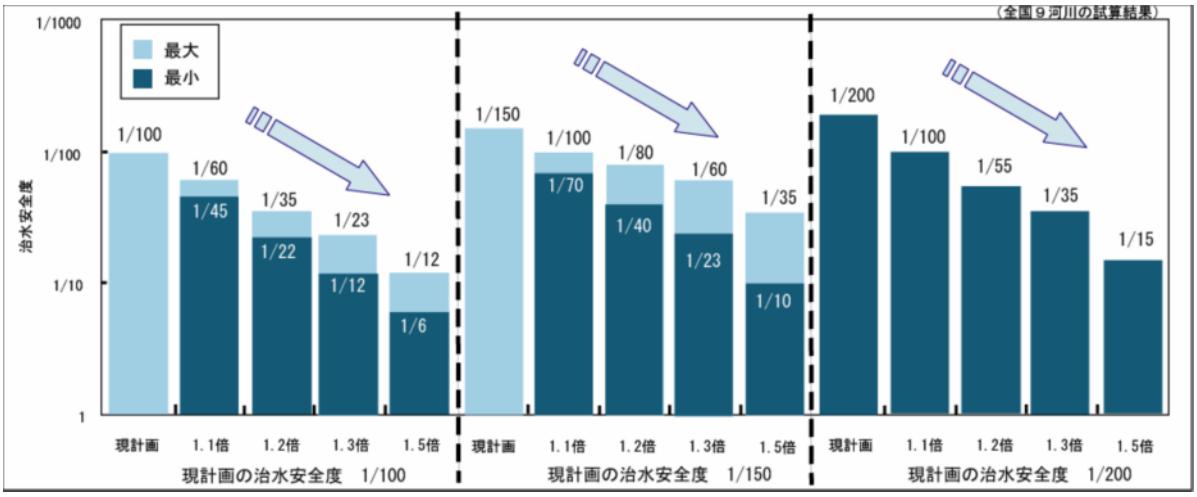


全国のアメダス地点約1300箇所の、1時間降水量の年間延べ発生件数

出典）国土交通省HP

気候変動

100年後の降水量の変化が治水安全度に及ぼす影響

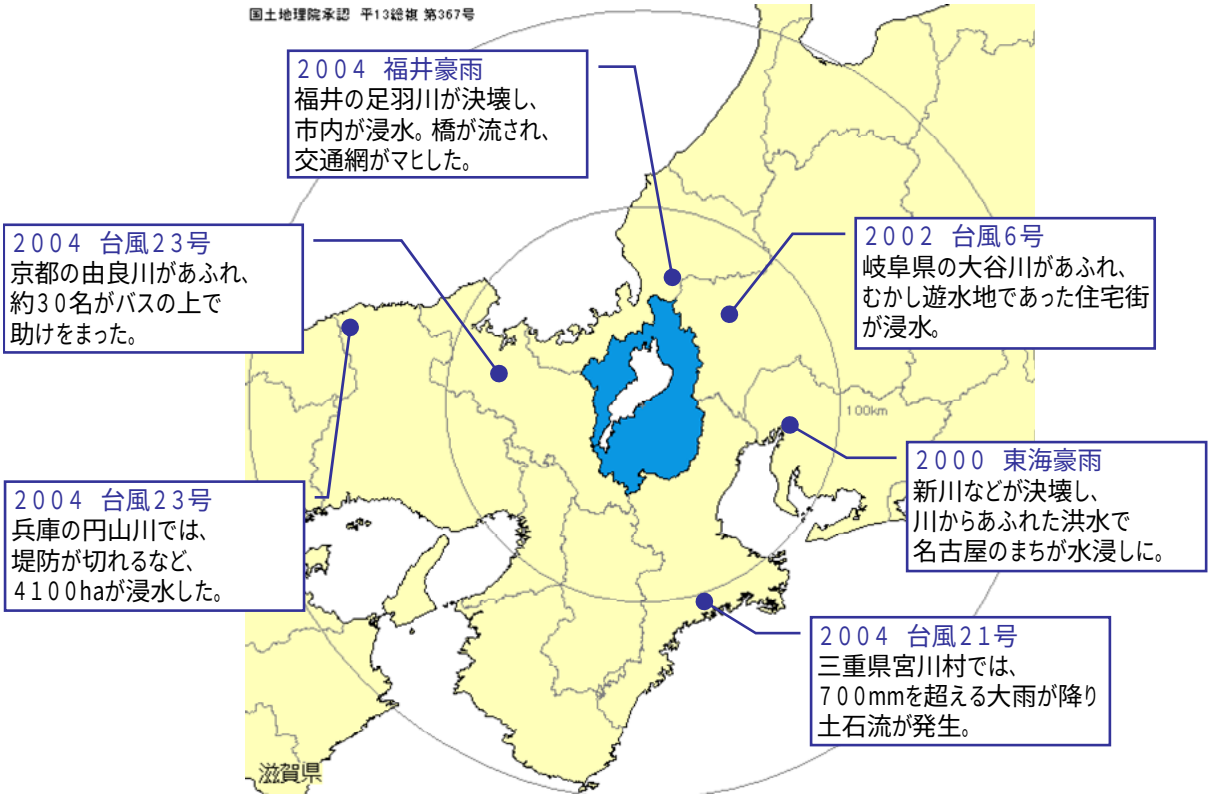


降水量の変化を予測すると、100年後には現在のおおむね1.1～1.3倍、最大で1.5倍程度を見込むことが妥当

降水量の変化によって、
現計画が目標としている治水安全度は著しく低下していく

出典）「地球温暖化に伴う気候変動が水関連災害に及ぼす影響について」H20.1　国土交通省資料

滋賀県の周辺で発生した近年の水害



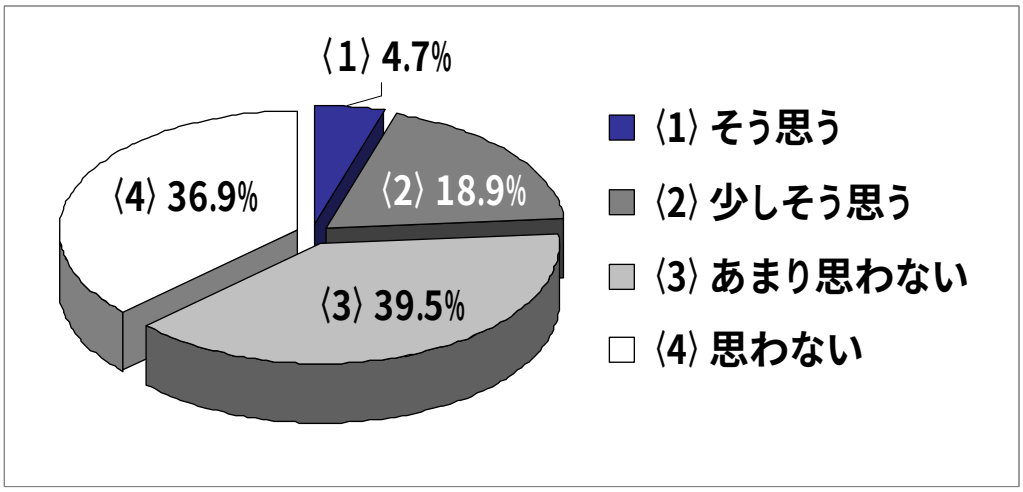
自助

【住民の課題】

①水害への危機感が薄れつつある。

県政モニターアンケートの結果

問：あなたは、今のお住まいが今後10年以内に洪水による被害を受けると思いますか？

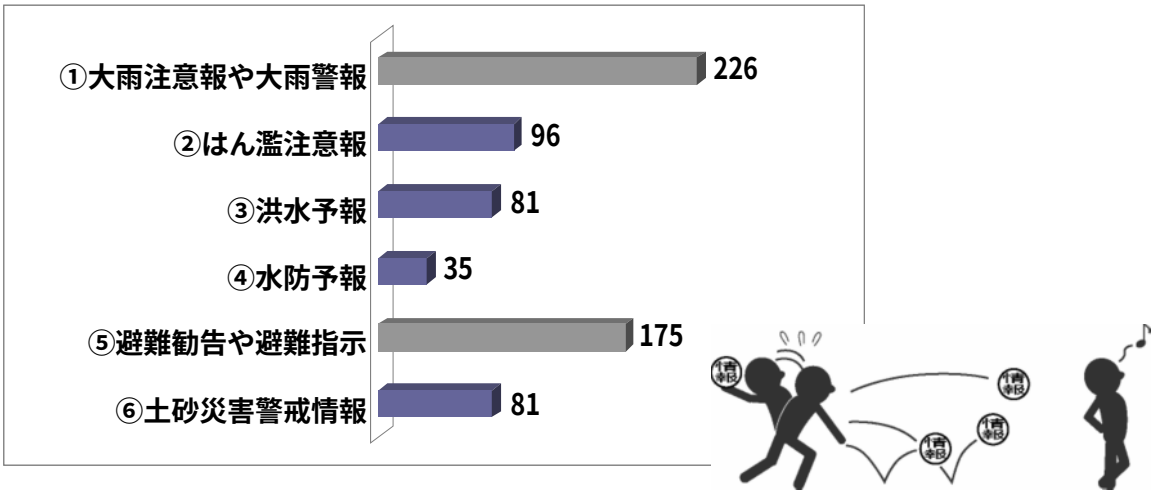


出典）県政モニターアンケート(H19.12)回答結果　回答者数：233人

- 洪水による被害を受けると「思わない」「あまり思わない」人の割合が約8割。

県政モニターアンケートの結果

問：水害や土砂災害の発生する危険性が高くなった時に出る情報のうち、あなたが知っているものすべてに○をしてください。（複数回答可）



出典）県政モニターアンケート(H19.12)　回答結果　回答数：228人

- 大雨注意報・警報、避難勧告・指示に比べ、**はん濫注意情報**、**洪水予報**、**水防予報**を知っている住民が非常に少ない。

住民の意識

平成16年新潟･福島豪雨での住民の声

- 防災スピーカー、サイレンなどを設置して危険を早く知らせてほしい。とにかく何も連絡なし。動けませんでした。
- 避難勧告などが全く無く、情報が少なく、どう行動をとっていいのか分からなかった。
- 浸水が進んでも避難勧告がなく､避難できなかった。市の責任は重い。

片田敏孝･群馬大学助教授が行った｢平成16年7月新潟豪雨災害に関する実態調査｣のフリーアンサーより

住民の意識

平成16年新潟豪雨災害現地調査
金物工場で一人働く老人へのヒアリング

避難の理由を聞くも、老人は今でこそ旧式の工場の機械が如何に高性能で作業に欠かせなかったかを延々と語り続けた。

平成10年8月末東日本豪雨災害
郡山市避難困難者ヒアリング調査

｢逃げろ｣と言われても､家が流れてしまったらその後の人生はあまりにも辛い。
爺さんと苦労して建てたこの家が流れるのだったら、私も一緒に流れたい。

防災講演会（2007.8 群馬大学片田教授）資料から転載

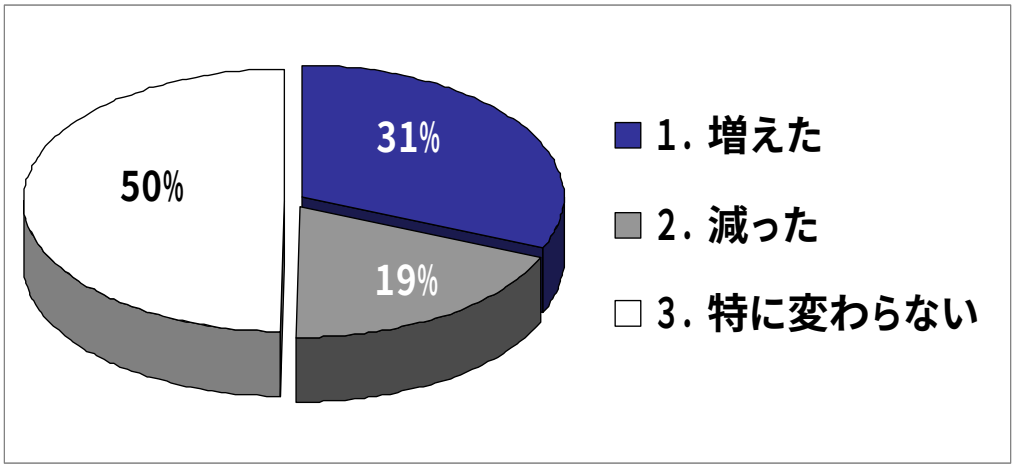
共助

【地域の課題】

①地域のコミュニティが弱くなっている。

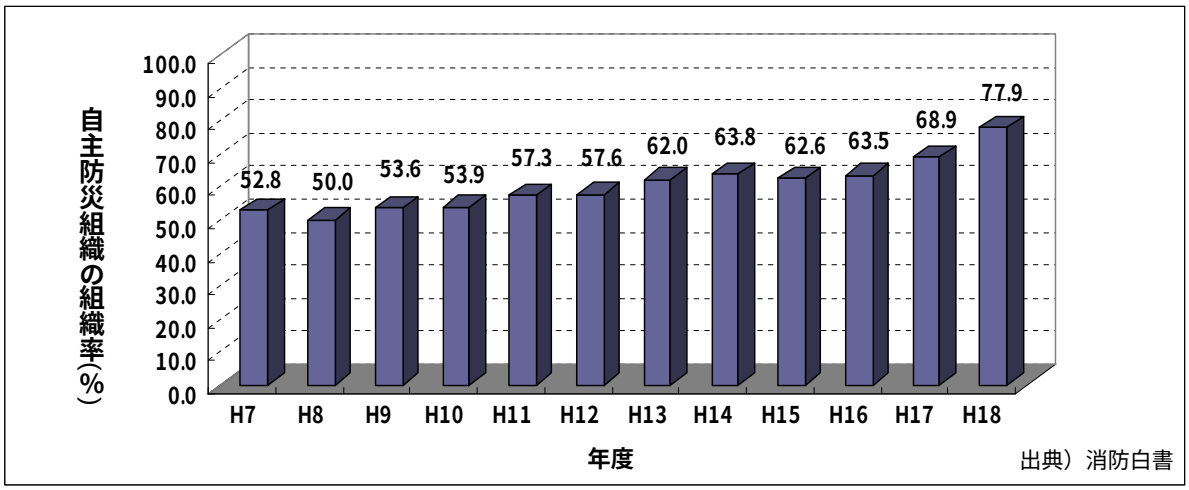
地域防災力に関するアンケート調査結果

問：あなたの自治会では、昔（10年程度前）と比べて地域で実施される行事は増えましたか。それとも減りましたか。



出典）地域防災力に関するアンケート（H20.2）回答結果　回答数：2,399

自主防災組織の組織率の推移



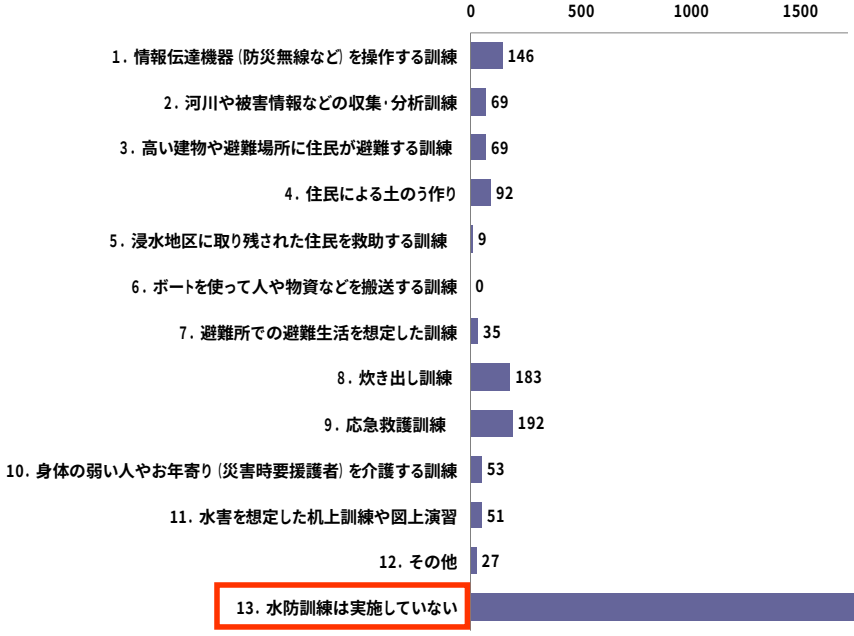
（自主防災組織が組織されている地域の世帯数／滋賀県下の全世帯数）×１００

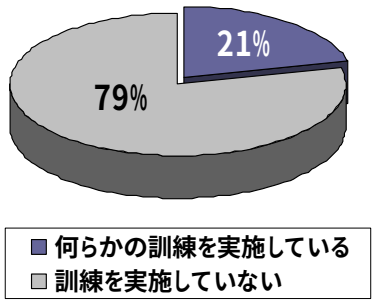
滋賀県流域治水検討委員会（行政部会）で出された意見より

- 防災が地震に偏っている。**自主防災組織も地震がメイン**になっている。
- 組織率は高いが、**住民が何をしないといけないか、といったところまでいっていない。**

地域防災力に関するアンケート調査結果

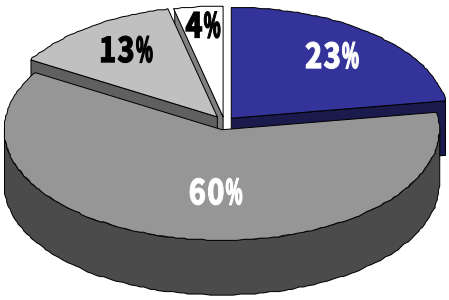
問　あなたの自治会では、水害に備えるための訓練（水防訓練）のうち、どれを実施していますか。行政主催の訓練への参加や自治会で実施している訓練を挙げてください。（複数回答可）



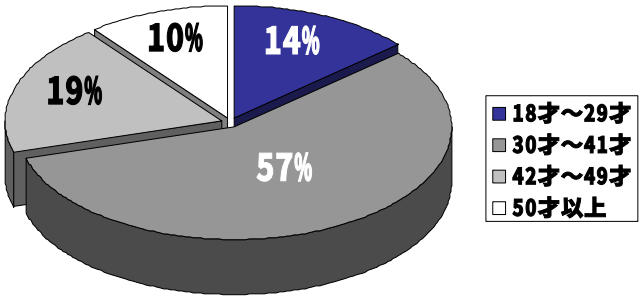


出典）地域防災力に関するアンケート(H20.2)回答結果　自治会数：2,465　回答数：2,865

消防団（水防団）員の構成

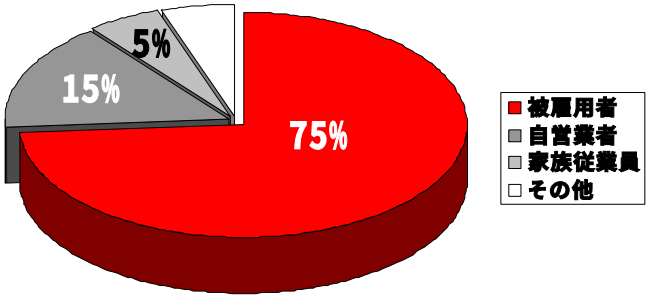


昭和55年　9,443人



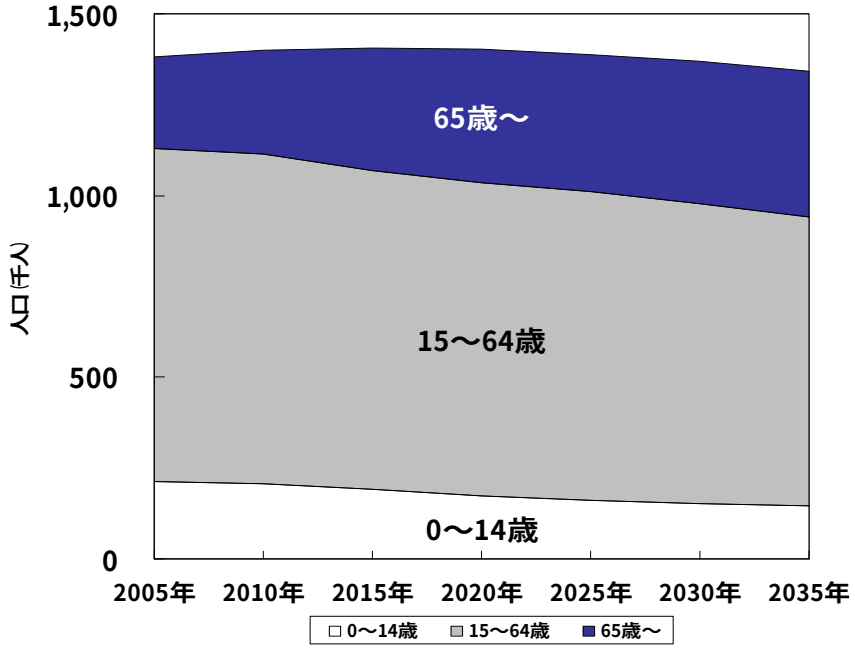
平成17年　9,366人

- 消防団員数は維持されているものの、高齢化が進行。
- ７割以上が被雇用者（サラリーマン団員）



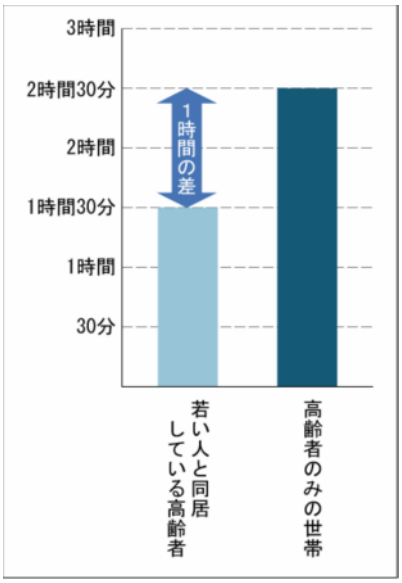
出典：滋賀県消防年報

滋賀県における年齢区分別人口の推計



年齢区分別人口の推計値（滋賀県）
（出典：国立社会保障・人口問題研究所資料）

【参考】
高齢者が避難に要した時間



2000年の東海豪雨で群馬大学の片田敏孝助教授が調査した結果
出典：国土交通省河川局災害情報

- 滋賀県においても、少子高齢化が進行。